



地域をかえるチカラ

「支え合い」って大切なことだとは思いますが、一人では動く勇気も出ないし、余裕もない。
 でも、ご近所の人々と一緒に…？
 そう思う人たちが結集したとき、なんだか出来そうな気がしてきて、
 ほんの少し、地域の温度もあがった。
 それはやがて大きなチカラとなって、まちの未来を変えていく。
 皆さんは、自分の住む地域をどんなまちにしたいですか？

生活支援体制整備事業は、自治会や住民、ボランティアや行政など、「地域」をつくる主体が連携して、「地域の助け合い・支え合い地域活動を地域の視点で広げよう」という取組です。

市介護福祉課 地域ケア推進係 ☎ 34-0324

「住み慣れた地域＝暮らしやすい地域」であるために

少子高齢化の進展により、若者の負担が増加しています。また、生活様式の変化から人間関係が希薄化し、隣人がどんな人も分からないといった例が見受けられます。

こうした中、高齢者をはじめとする全ての方が、「住み慣れた地域が暮らしやすい地域」であるための仕

組みづくりが、必要とされています。

そこで本市では、住民同士が地域の情報・課題を自由に話し合い、自分たちでできる互助活動を実践する「協議体」をつくっています。また、「生活支援コーディネーター」が、各協議体の運営や助け合い活動を推進しています。



活動の中心は、小学校区ごとの「第2層協議体」

地域の情報や課題を皆で共有し、福祉活動を実践していけるよう、「第1層」「第2層」「第3層」の各協議体が連携しています。中でも、取組の中心を担うのは 各小学校区ごとに設置された9つの「第2層」協議体 です。

生活支援コーディネーターが運営を支援しながら、地域課題の発掘や解決策などを話し合い実践しています。

